

提案内容評価シート(特定審査委員会 委員採点用) 委員名() (委員 No,) 〇者

評価項目	評価の着目点	提案項目	評価基準	配点	採点	
1 予定技術者の資格、実績、実施体制の充実度			【提出書類】 様式エ 配置予定者調書 様式カ 業務実施体制 様式ク 予定技術者の過去における同種又は類似の業務実績	20	事務局採点20	
予定技術者の資格	十分な資格のある技術者が配置されているか		A 管理技術者及び主任担当技術者を除き、一級建築士を2名以上配置している	4点	4	
			B 管理技術者及び主任担当技術者を除き、一級建築士を1名以上配置し、かつ二級建築士を1名以上配置している	2点		
			C 管理技術者及び主任担当技術者を除き、一級建築士を1名以上配置している。	0点		
予定技術者の実績	管理技術者の実績		A 認定こども園の実績※2が2件以上ある	4点	4	
			B 認定こども園の実績※2が1件以上又は類似業務の実績※3が2件以上ある	2点		
			C 上記以外	0点		
主任担当技術者の実績(建築意匠)			A 認定こども園の実績※2が3件以上ある	7点	7	
			B 認定こども園の実績※2が2件以上又は類似業務の実績※3が3件以上ある	4点		
			C 上記以外	0点		
実施体制の充実度	意匠、構造、設備等の業務に応じた担当者の配置や構成が明確であり、迅速・柔軟に対応できるか		A 担当者の配置や構成が明確であり、十分に対応できる	5点	5	
			B 担当者の配置や構成が明確でなく、迅速・柔軟に対応できない	0点		
2 業務実施方針、技術提案			【提出書類】 任意様式	70	各委員採点70	
技 術 点	業務実施方針 ・業務の目的、条件、内容の理解度が高い場合に評価する。 ・記載内容の妥当性が高い場合に評価する。	実施手順	① 業務の進め方 ア 成果物等(報告書及び図面、積算関係書類等)の品質向上を図るための方法 イ 履行期間内に求める成果物を作成し、業務を計画的に進めるためのスケジュールの組み立て方や管理方法等の業務の進め方 ウ 関係者間の連携等をどう行うかなどの取組体制	A 優れている	5点	5
				B 適切である	3点	
				C 不適切である	0点	
			② コスト等の考え方 ア	A 優れている	8点	8
				A' やや優れている	6点	
				B 適切である	4点	
				B' やや適切である	2点	
				C 不適切である	0点	
			③ 建替えに関する提案 ア	A 優れている	8点	8
				A' やや優れている	6点	
				B 適切である	4点	
				B' やや適切である	2点	
C 不適切である	0点					

技術提案	<p>・提案が、敷地や環境(人や物)、地域特性などの与条件との整合性が高いかについて評価する。</p> <p>・提案された手法に説得力がある場合に評価する。 (例:、利用しようとする技術基準や資料、提案内容を裏付ける数値や類似実績の明示)</p> <p>・着目点・問題点・解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に評価する。</p> <p>・提案内容によって想定される事業費が適切である場合に評価する。</p>	整備方針に対する提案	① 安全・安心・快適	<p>子どもの安全を見守るための視認性等への配慮や不審者対策、防犯監視システムの設置など、子どもが安全に過ごすことができる施設を実現できる提案となっているか。</p> <p>子どもの健康に配慮し、採光、通風、換気などを十分確保することや、木の温もりを感じられるような空間を意識するなど、園内の快適性や保健衛生に配慮した施設を実現できる提案となっているか。</p>	A 優れている 14点	14	
			A' やや優れている 10点				
			B 適切である 6点				
			B' やや適切である 3点				
			C 不適切である 0点				
			② 幼児教育の向上・保育環境	<p>子どもの発達段階にあわせた活動スペース(空間づくり)に配慮し、共に育ち、学び合いながら、ワクワクするような遊びなどを通して豊かな体験を積み重ねることができる環境についての提案となっているか。</p> <p>教育・保育のあり方の変化に柔軟に対応できる部屋及び将来の社会情勢を見越した構成、構造計画についての提案となっているか。</p> <p>子ども一人ひとりの個性を尊重し、多様なニーズ(障害児、医療的ケア児、他国籍児等)に対応するなど、すべての子どもが共に学び、育つことができる施設を実現できる提案となっているか。</p> <p>子どもの活動の把握や園内移動がしやすく、また、事務効率向上への配慮など、職員の働きやすさについての提案となっているか。</p> <p>子どもが調理室での調理の様子をうかがい知ることができ、食材や調理員等への感謝の気持ち、生命を大切にする気持ちを育むことができるような、食育を促進する環境についての提案になっているかどうか。</p>	A 優れている 14点	14	
			A' やや優れている 10点				
			B 適切である 6点				
			B' やや適切である 3点				
			C 不適切である 0点				
			③ 地域の拠点	<p>全ての子育て家庭に対し、子育てについての必要な支援を行うことについての提案となっているか。</p> <p>災害時や緊急時等において、他の施設で保育の提供が出来ない状態となった際などの受け皿施設となることについての提案となっているか。</p> <p>全市の幼児教育・保育の基幹的役割を果たすための研修等を実施することに配慮した提案となっているか。</p>	A 優れている 8点	8	
			A' やや優れている 6点				
			B 適切である 4点				
			B' やや適切である 2点				
			C 不適切である 0点				
			④ 環境等への配慮	<p>長寿命化計画の主旨に沿ったメンテナンス性の向上とライフサイクルコスト削減に向けた具体的方策についての提案となっているか。</p> <p>近隣の住環境に配慮するため、日影及び騒音対策を考慮した園舎形状及び配置についての提案となっているか。</p>	A 優れている 8点	8	
			A' やや優れている 6点				
			B 適切である 4点				
			B' やや適切である 2点				
			C 不適切である 0点				
⑤ ゾーニング計画	<p>施設のゾーニング(類似した部屋や空間をグループごとにゾーンとしてまとめ、計画していくこと)や動線が、子どもたちや保育士等にとってより良い環境を提供できているか。</p>	A 優れている 5点	5				
A' やや優れている 4点							
B 適切である 3点							
B' やや適切である 2点							
C 不適切である 0点							
コスト	3 業務費見積額		【提出書類】	任意様式	10	事務局採点10	
	業務費見積額	価格点の算定式＝満点(10点)×各提案者の提案金額のうち最低額÷各提案者の提案金額 (ただし、小数点以下を切り捨て)			10		
計					100		

※1 予定技術者の資格・経験、実施体制の充実度、業務費見積額は、事務局が採点を行う。業務実施方針、技術提案、その他は、特定審査委員会にて、委員が評価を行う。

※2 認定子ども園の実績とは、新築又は増築で延床面積500㎡以上

※3 類似業務の実績とは、幼稚園又は保育所の新築又は増築で延床面積500㎡以上

※4 合計点が最も高い者を受託候補者として特定する。合計点が最も高い者が複数いる場合は、次の優先順位において、受託候補者を特定する。

①：技術提案のうち「整備方針に対する提案」の合計点が最も高い者

②：参考見積金額が最も低い者

③：市内業者または認定市内業者

④：くじにより受託候補者となった者

※5 「提案内容評価」において、いずれかの項目について委員全員の採点が0点のものがある場合、または委員全員の採点の合計点が満点の2分の1未満の場合は、受託候補者として特定しない。